

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-154505

(P2017-154505A)

(43) 公開日 平成29年9月7日(2017.9.7)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 4 2 D 11/00 (2006.01)	B 4 2 D 11/00 A	2 C 0 0 5
B 4 2 D 25/20 (2014.01)	B 4 2 D 15/10 2 0 0	

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2017-110936 (P2017-110936)	(71) 出願人	000110217
(22) 出願日	平成29年6月5日 (2017.6.5)		トッパン・フォームズ株式会社
(62) 分割の表示	特願2015-71287 (P2015-71287)	(74) 代理人	100099357
	の分割		弁理士 日高 一樹
原出願日	平成27年3月31日 (2015.3.31)	(74) 代理人	100179534
			弁理士 関口 かおる
		(72) 発明者	丹野 健
			東京都港区東新橋一丁目7番3号 トッパ
			ン・フォームズ株式会社内
		(72) 発明者	植田 美里
			東京都港区東新橋一丁目7番3号 トッパ
			ン・フォームズ株式会社内

最終頁に続く

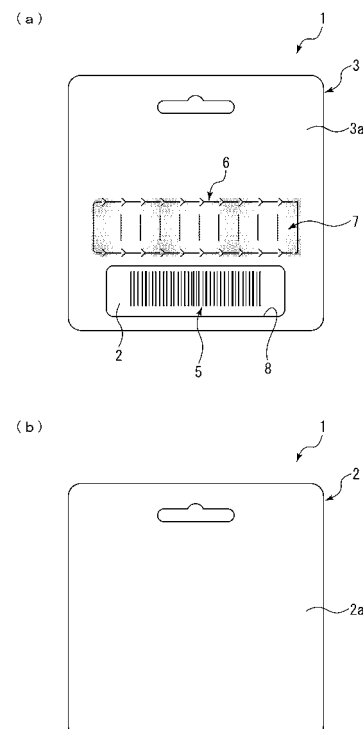
(54) 【発明の名称】 サービス提供用シート

(57) 【要約】

【課題】 不正使用を防止できるサービス提供用シートを提供すること。

【解決手段】 固有の識別情報4とバーコード5とが記載されたシート本体2と、シート本体2に重合して貼り付けられた被覆シート3と、から成り、被覆シート3は、バーコード5が位置する部分に切抜部8を備え、識別情報4に重合する部分にミシン目6により被覆シート本体3aから剥離可能に構成される開封部7を備え、開封部7は、塑性変形しやすい紙素材で形成されるとともに、開封部7を構成する素材の色と、開封部7の表面に塗装される色とは、互いの色差が大きくなるような色となっている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

固有の識別情報とバーコードとが記載されたシート本体と、
前記シート本体に重合して貼り付けられた被覆シートと、から成り、
前記被覆シートは、前記バーコードが位置する部分に切抜部を備え、前記識別情報に重合する部分にミシン目により被覆シート本体から剥離可能に構成される開封部を備え、
前記開封部は、塑性変形しやすい紙素材で形成されるとともに、前記開封部を構成する素材の色と、前記開封部の表面に塗装される色とは、互いの色差が大きくなるような色となっていることを特徴とするサービス提供用シート。

【請求項 2】

前記被覆シート本体における前記ミシン目により区画された前記開封部の縁部周辺には、該開封部と同じ色の塗装が施されていることを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供用シート。

【請求項 3】

前記開封部には、前記シート本体から剥離する方向を横切る方向に前記開封部の塑性変形を促す線状部が形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のサービス提供用シート。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、識別情報が記載されたサービス提供用シートに関する。

【背景技術】**【0002】**

近年、コンピュータネットワーク上のサービスを受ける際に、その代金の決済にプリペイドカードを用いることができるシステムが実用化されている。このようなシステムにおいては、プリペイドカードには識別番号及びこれに対応づけられた P O S コードが表示されており、プリペイドカードが購入される際、プリペイドカードに表示された P O S コードが P O S レジにて読み取られることによってプリペイドカードが使用可能な状態となる。その後、プリペイドカードの購入者は、プリペイドカードに表示された識別情報を用いて決済を行うことになる。

【0003】

従来のプリペイドカードは、第 1 のシート部と第 2 のシート部とを有し、これらが折り畳まれることで、第 2 のシート部によって、第 1 のシート部に表示された第 1 のコード（識別情報）が視認不可能となるとともに、第 2 のコード（P O S コード）が視認可能となっており、第 2 のシート部が開封されて初めて第 1 のコードが視認できるようになっている（例えば、特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】 特開 2 0 1 4 - 2 3 7 3 1 0 号公報（第 7 頁、第 1 図）

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

上述したようなプリペイドカードを用いたシステムにおいては、例えば不正使用者が店頭において未購入のプリペイドカードの第 2 のシート部を開封し、第 1 のコード（識別情報）を控えた上で、第 2 のシート部を再び折り畳んだ状態で陳列させ、その後、他人が当該プリペイドカードを購入し、第 2 のコード（P O S コード）が P O S レジにて読み取られるのを待って、控えておいた識別情報を用いてサービスの提供を受けるといった不正使用が問題となる。

【0006】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、不正使用を防止できるサービス提供用シートを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記課題を解決するために、本発明のサービス提供用シートは、
固有の識別情報とバーコードとが記載されたシート本体と、
前記シート本体に重合して貼り付けられた被覆シートと、から成り、
前記被覆シートは、前記バーコードが位置する部分に切抜部を備え、前記識別情報に重合する部分にミシン目により被覆シート本体から剥離可能に構成される開封部を備え、
前記開封部は、塑性変形しやすい紙素材で形成されるとともに、前記開封部を構成する
素材の色と、前記開封部の表面に塗装される色とは、互いの色差が大きくなるような色とな
っていることを特徴としている。

10

前記被覆シート本体における前記ミシン目により区画された前記開封部の縁部周辺には、
該開封部と同じ色の塗装が施されていることを特徴としている。

前記開封部には、前記シート本体から剥離する方向を横切る方向に前記開封部の塑性変
形を促す線状部が形成されていることを特徴としている。

この特徴によれば、開封部をシート本体から剥離する際に、開封部の湾曲に伴い開封部
における線状部の近傍に弾性回復しない塑性変形した部分が形成されるため、サービス提
供用シートの購入者あるいは販売店の店員は塑性変形した部分の有無を基準として不正使
用の疑いのあるサービス提供用シートを発見でき、不正使用を未然に防ぐことができる。

20

【0008】

前記塑性変形を伴う線状部は、前記シート本体から剥離する方向に対して略直交するよ
うに形成されていることを特徴としている。

この特徴によれば、開封部をシート本体から剥離する際に塑性変形した部分が線状に形
成され、その有無を確認し易い。

【0009】

前記開封部は、前記識別情報を被覆するように切込部と非切込部とが交互に形成されて
構成されるミシン目により区画されていることを特徴としている。

この特徴によれば、剥離する際に非切込部で開封部に瞬間的に強い衝撃が掛かり、塑性
変形した部分が形成され易い。

30

【0010】

前記塑性変形を促す線状部の長手方向端部が前記非切込部と近接して配置されているこ
とを特徴としている。

この特徴によれば、剥離する際に開封部に瞬間的に強い衝撃が掛かる非切込部近傍に線
状部が配置されるため、塑性変形した部分が形成され易い。

【0011】

前記塑性変形を促す線状部は、前記開封部に形成された切込であることを特徴としてい
る。

この特徴によれば、切込を形成することで開封部が弱くなるため、剥離する際に開封部
の湾曲に伴い塑性変形した部分が形成される。

40

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】実施例におけるサービス提供用シートを示す図である。

【図2】サービス提供用シートを示す分解斜視図である。

【図3】開封部を剥離する様子を示す斜視図である。

【図4】開封部を示す部分拡大正面図である。

【図5】開封部を剥離する様子を示す部分拡大正面図である。

【図6】開封部に塑性変形した部分が形成された状態を示すイメージ図である。

【図7】開封部が折曲した状態を示す下面図である。

【図8】サービス提供用シートの変形例を示す図である。

50

【図 9】スリット部の形状の変形例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

本発明に係るサービス提供用シートを実施するための形態を実施例に基づいて以下に説明する。

【実施例】

【0014】

実施例に係るサービス提供用シートにつき、図 1 から図 9 を参照して説明する。

図 1 の符号 1 は、本発明の適用されたサービス提供用シートである。図 1 (a) に示されるのはサービス提供用シート 1 の裏面であり、P I Nコード 4 とバーコード 5 とが記載されている。また、図 1 (b) に示されるのはサービス提供用シート 1 の表面であり、このサービス提供用シート 1 の P I Nコード 4 とバーコード 5 により提供されるサービスの名称や金額等の情報が記載されている。サービス提供用シート 1 は、図 2 に示されるようにシート本体 2 と、シート本体 2 の裏面 2 a に重合して貼り付けられた被覆シート 3 とから主に構成されている。

【0015】

図 2 に示されるように、シート本体 2 は、その表面に識別情報である P I Nコード 4 と、P O Sコードであるバーコード 5 とが記載されている。これら P I Nコード 4 とバーコード 5 とは、互いに対応づけられたものとなっている。P I Nコード 4 は数字や文字の組み合わせであり、シート本体 2 の幅方向に記載されており、バーコード 5 は P I Nコード 4 と並列してシート本体 2 の幅方向に記載されている。

【0016】

図 1 及び図 2 に示されるように、被覆シート 3 は、シート本体 2 と重合した際に P I Nコード 4 の上に位置する部分がミシン目 6 により区画されて開封部 7 が形成されている。ミシン目 6 は P I Nコード 4 の外側を囲むような略矩形状に形成されており、その長手方向一方側（図 1 では画面左側）の辺 6 a と、当該辺 6 a の両端からそれぞれ連続するミシン目 6 の角部 6 b, 6 b とが予め被覆シート本体 3 a から切り離されて開封部 7 の剥離開始端部 7 0 が形成されている。また、長手方向他方側の辺 6 c 及び接続された角部 6 d, 6 d も同様に予め被覆シート本体 3 a から切り離されて開封部 7 の剥離終端部 7 1 が形成されている。

【0017】

被覆シート 3 には、シート本体 2 と重合した際にバーコード 5 の上に位置する部分に切抜部 8 が形成されており、この切抜部 8 からシート本体 2 のバーコード 5 が確認できるようになっている。

【0018】

開封部 7 は、図 3 に示されるように、ミシン目 6 に沿って被覆シート本体 3 a から切り離すことができるようになっており、開封部 7 が剥離されて形成された開口部 9 からシート本体 2 の P I Nコード 4 を確認できるようになっている。

【0019】

また、開封部 7 は、塑性変形しやすい紙素材で形成されるとともに、開封部 7 を構成する素地の色と、開封部 7 の表面に塗装される塗装色とは、互いの色差が大きくなるような色となっている。尚、本実施例では、開口部 9 の縁部にも開封部 7 と同じ塗装が施されている。

【0020】

図 4 に示されるように、ミシン目 6 は、所定間隔おきに所定の長さで形成されてミシン目 6 の上下辺を構成する線状切込 1 1, 1 1, …と、隣接する線状切込 1 1, 1 1 同士の間形成される山型の山型切込 1 2, 1 2, …と、を備えている。山型切込 1 2, 1 2, …は、山型の頂点 1 2 a が線状切込 1 1 の長手方向における剥離終端部 7 1 側と接続されている。

【0021】

開封部 7 は、シート本体 2 から剥離される方向に、塑性変形を促す線状部であるスリット部 1 3, 1 3, … がそれぞれ離間して複数箇所形成されている。スリット部 1 3 は、開封部 7 の幅方向略中央部に、開封部 7 の剥離方向と直交する方向に開封部 7 を切り抜いて線状に形成されている。尚、スリット部 1 3 の長手方向両端部 1 3 a, 1 3 a から線状切込 1 1, 1 1, … までの幅方向の距離は 5 mm となっており、この線状切込 1 1 から長手方向両端部 1 3 a までの幅方向の距離と、スリット部 1 3 の長手寸法と、長手方向両端部 1 3 a から線状切込 1 1 までの幅方向の距離と、の寸法比が 1 対 2 対 1 となっていることが好ましいが、必ずしもこの寸法比となるものに限られない。

【0022】

また、スリット部 1 3 は、当該スリット部 1 3 の長手方向両端部 1 3 a, 1 3 a から直線状に延長した仮想線 α が線状切込 1 1, 1 1 における開封部 7 の剥離終端部 7 1 側の端部 1 1 a, 1 1 a と交わるように、スリット部 1 3 の開封部 7 上における位置が設定されている。更に、スリット部 1 3 の長手方向両端部 1 3 a, 1 3 a から直線状に延長した仮想線 α は、開封部 7 の剥離方向に隣接する山型切込 1 2, 1 2 を構成する幅方向内側の辺 1 2 b, 1 2 b の終端近傍に位置している。

【0023】

利用者がサービス提供用シート 1 を購入する際、購入する店舗に設置された端末によりバーコード 5 が読み取られる。尚、この時点では、P I Nコード 4 は開封部 7 が閉じられて視認不可能となっている。

【0024】

続いて、実際に開封部 7 を剥離させ、P I Nコード 4 を露出させる際の態様を図 3 から図 5 を用いて説明する。尚、ここでは、敢えてサービス提供用シート 1 の購入者以外（不正使用者）が P I Nコード 4 を盗み見ようとした際を例に説明する。不正使用者は、P I Nコード 4 を盗み見るために開封部 7 を剥離させた後、遠目では開封部 7 が剥離されたことが判別できないように丁寧に開封部 7 を戻すというような作業を行い、その後に不正にサービスの提供を受けようとするものと想定する。

【0025】

図 4 に示されるように、開封部 7 は、線状切込 1 1 と隣接する山型切込 1 2 との間及び剥離開始端部 7 0 を構成する角部 6 b の終端と隣接する山型切込 1 2 との間、線状切込 1 1 と隣接する剥離終端部 7 1 を構成する角部 6 d の終端との間には、余白部 2 0 が向けられており、開封部 7 の剥離開始端部 7 0 の中央部を掴み、引き上げるようにすることで余白部 2 0 が破断され、剥離できるようになっている（図 3 参照）。

【0026】

余白部 2 0 が破断される際には、山型切込 1 2 の各辺 1 2 b, 1 2 c に影響されて、破断線が山型切込 1 2 の少なくともいずれか一方の辺と交わる。そのため、図 5 に示されるように、開封部 7 の一部が被覆シート本体 3 a 側に残存したり、反対に開封部 7 側に被覆シート本体 3 a の一部とともに剥がれたりしてしまい、破断線が目立ちやすい。また、前述したように、開封部 7 を構成する素地の色と、開封部 7 の表面に塗装される塗装色とは、互いの色差が大きくなっているため、破断線の断面が目立ちやすくなっている。

【0027】

開封部 7 は、剥離方向の所定位置に前述したスリット部 1 3 が複数設けられていることから、当該スリット部 1 3 の長手方向両端部 1 3 a, 1 3 a 近傍が折曲し易くなっている。加えて、余白部 2 0 が破断される際には当然、余白部 2 0 に力が集中ことになるが、線状切込 1 1 の剥離終端部 7 1 側の端部とスリット部 1 3 とが開封部 7 の剥離方向に略同一となっているため、スリット部 1 3 及びその長手方向両端部 1 3 a, 1 3 a 近傍に剥離時の力の掛かり易く、折曲し易くなっている。

【0028】

また、図 6 に示されるように、開封部 7 は、素地と表面塗装との色差が大きいため、折れ曲がった部分の表面塗装が崩れて素地が露出し、折れ曲がった部分が目立ちやすいばかりか、開封部 7 は塑性変形しやすい紙素材であるため、折れ曲がった部分が回復せず、時

10

20

30

40

50

間経過後でも折れ曲がりの発生を視認し易い。

【0029】

また、図6に示されるように、スリット部13は、剥離方向に隣接する山型切込12の内側の辺12bの終端より開封部7の剥離開始端部70側に位置しているため、スリット部13の長手方向両端部13a、13aと山型切込の内側辺の終端とを結ぶ折れ曲がり線F、Fが斜めに発生することになる。

【0030】

そのため、開封部7の剥離に伴い、斜めの折れ曲がり線F、Fに引っ張られる形で開封部7の幅方向端部が立ち上がり、開封部7が長手方向内側に巻き込まれる形に変形することになる。このように、折れ曲がり線F、Fが斜めであるため、開封部7が平板上に戻ろうとする力が開封部7の幅方向の中央（スリット部13）と折れ曲がり線F、F付近とに不均一となるため、開封部7の変形状態が維持されやすい。そのため、外力によって無理に変形を元に戻そうとすると、図7に示されるように、スリット部13及び折れ曲がり線F、F近傍を中心に開封部7が山折り谷折りに変形された立体的な形状となり、目立ち易い。

10

【0031】

このように、一度でも開封部7を剥離させると、その剥離させた形跡が視認し易い状態で残存することになるため、不正使用者の後にサービス提供用シート1を購入しようとした購入者や販売店の店員が不正使用の疑いのあるサービス提供用シート1を発見でき、不正使用を未然に防ぐことができる。また、不正使用者本人も、剥離させた形跡を目にすることで、不正使用を諦める場合も考えられ、抑止効果も期待できる。

20

【0032】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成はこれら実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【0033】

例えば、前記実施例では、塑性変形を伴う線状部として開封部7を裏表に貫通するスリット部13として説明したが、開封部が剥離される際に開封部に折れ線のような塑性変形した部分が形成されるように機能するものであればよく、例えば、溝のように完全に開封部を貫通するスリット部でなくてもよいし、押圧によるスジ押しによる溝や基材の途中まで切り込みが入っているハーフスリット、又はミシン目等でもかまわない。また、塑性変形を伴う線状部が設けられることにより開封部の強度を落とすものに限らず、反対に開封部の強度を上げ、当該線状部が設けられていない部分に力を逃して塑性変形させやすくしてもよい。

30

【0034】

また、前記実施例では、スリット部13は、開封部7の幅方向略中央部に開封部7の剥離方向に直交して所定間隔離間させて複数形成されて説明されているが、これに限らず、例えば、開封部7の幅方向の端部に形成されてもよいし、開封部7の剥離方向に対して横切る方向であれば斜めに形成されてもよいし、少なくとも開封部7に1箇所形成されていればよい。更に、スリット部の形状は、直線的な形状に限らず、例えば図9(a)に示されるような、開封部7の剥離方向に頂点の向く、くの字形状であってもよいし、図9(b)に示されるような、波形状等であってもよいし、図9(b)に示されるように開封部7の幅方向に複数形成されてもよい。

40

【0035】

また、開封部7は、シート本体2の全面に渡る大きさの被覆シート3からミシン目6により一部が切り離された状態で形成される態様に限らず、例えば、被覆シートを兼ねる開封部がシート本体に剥離可能に接着剤等で固定されるような態様であってもよい。

【0036】

また、被覆シート3は、シート本体2と別体に限らず、例えば1枚のシートを折り畳んで、被覆シートとシート本体とを構成してもよい。

50

【0037】

また、前記実施例では、開封部7が直接PINコード4を被覆しており、開封部7の開封によりPINコード4を確認できるようになっているが、これに限らず、例えば図8(a)に示される変形例のように、開封部を分割して構成し、一方を開封専用部17Aとし、他方をPINコードに直接被覆される被覆部17Bとし、開封専用部17Aを剥離した後、図8(b)に示されるように、被覆部17Bを開くことでPINコード4を確認できるような構成であってもよい。

【0038】

また、ミシン目6の構成も線状切込11と山型切込12とを組み合わせた構成に限らず、例えば全て線状切込により構成されていてもよい。

10

【0039】

また、開封部7を構成する素材は前述した紙素材に限らず、例えば合成樹脂等でもよい。また、開封部7は、素地に対して色差の大きい色で塗装がなされたものに限らず、例えば色の違う合成樹脂を複数枚重ねて構成されたものであってもよい。尚、前述した折れ曲がり線F等によって不正使用の疑いのあるサービス提供用シート1を発見できるため、必ずしも開封部7の素地と塗装色との間に色差の違いがないものであってもよい。

【0040】

また、サービス提供用シート1は、インターネット上で利用されるものに限らず、特定の間が開封するまで固有の識別情報が隠され、その固有の識別情報を用いて、他者から何かしらのサービスの提供を受けるためのものであれば様々な分野で利用可能であり、例えば、銀行口座番号の通知書類に用いられ、配送中に口座番号が盗み見られたかどうかを判断できるようなものに利用されてもよい。

20

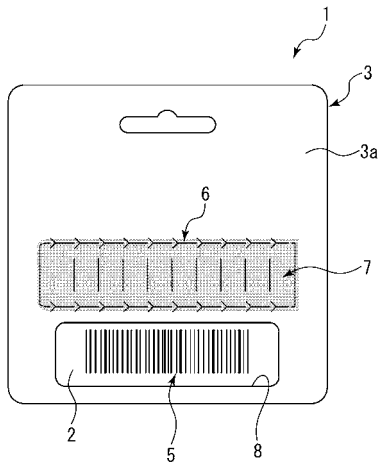
【符号の説明】

【0041】

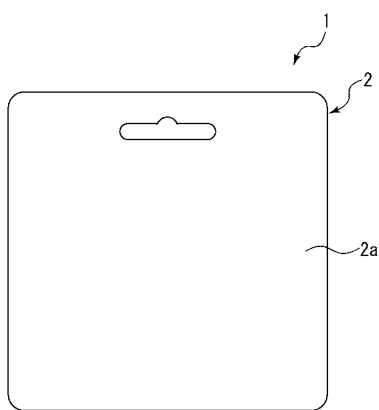
1	サービス提供用シート
2	シート本体
3	被覆シート
3 a	被覆シート本体
4	PINコード（識別情報）
5	バーコード
6	ミシン目
7	開封部
8	切抜部
9	開口部
11, 11, ...	線状切込
12, 12, ...	山型切込
12 a	山型切込頂点
12 b, 12 c	山型切込の辺
13, 13, ...	スリット部
13 a, 13 a	スリット部長手方向両端部
20	余白部
70	剥離開始端部
71	剥離終端部
F	折り曲がり線
α	仮想線

30

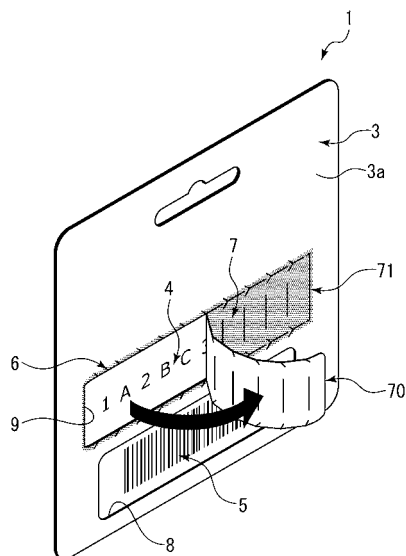
40

【図 1】
(a)

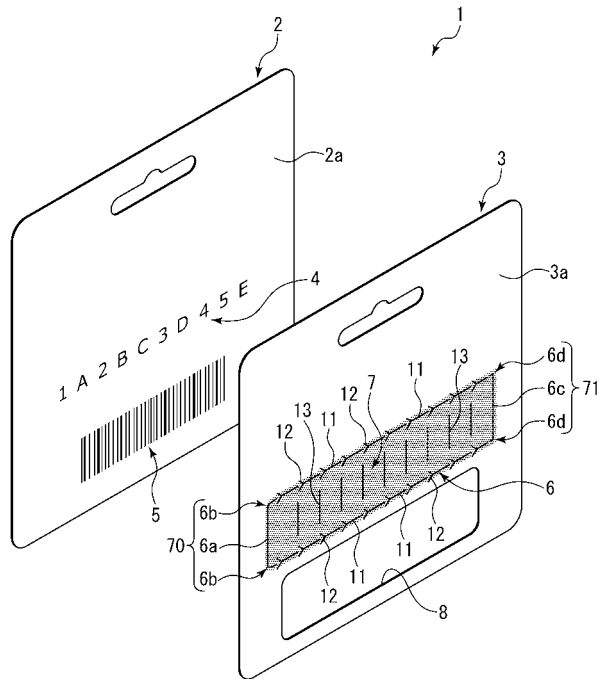
(b)



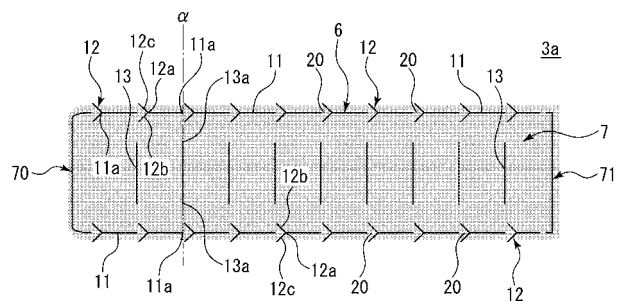
【図 3】



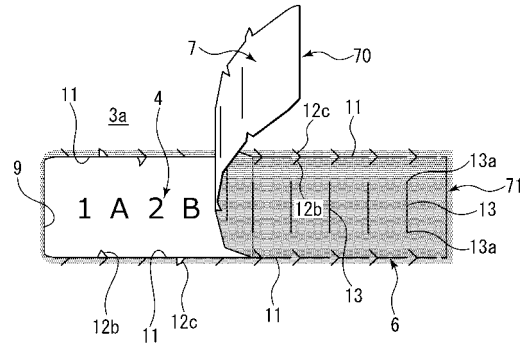
【図 2】



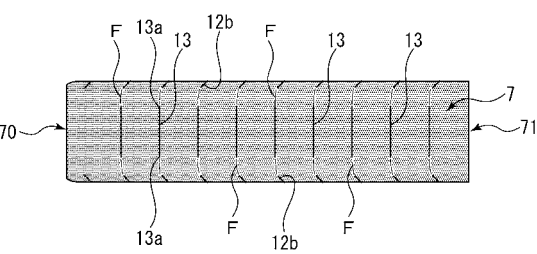
【図 4】



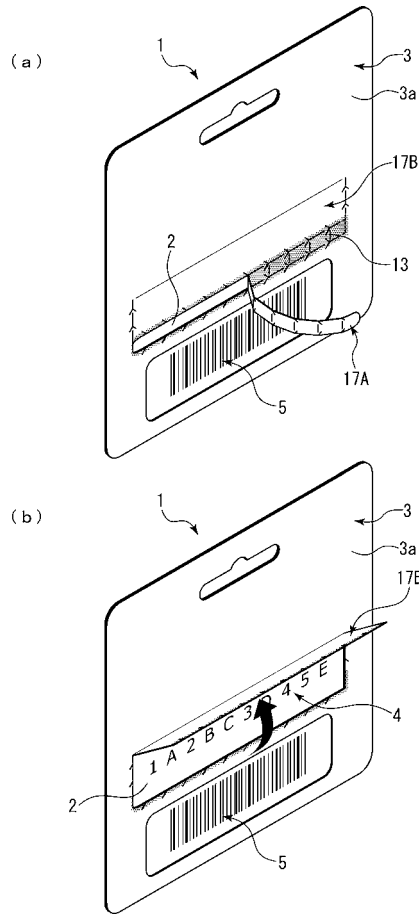
【図 5】



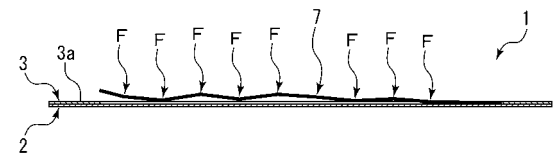
【図 6】



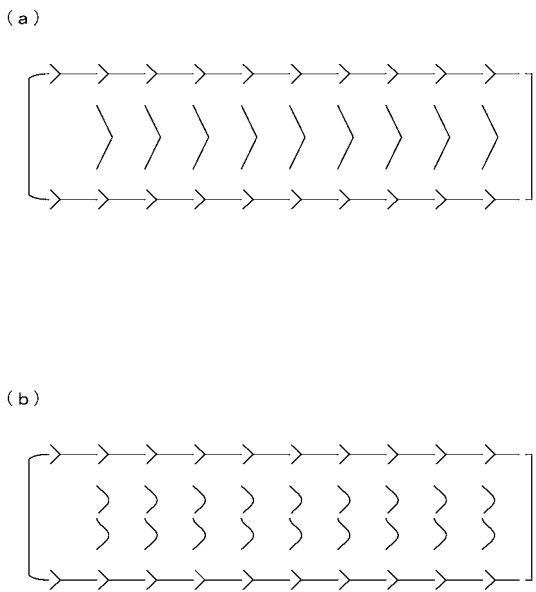
【図 8】



【図 7】



【図 9】



フロントページの続き

(72)発明者 齋藤 信行

静岡県浜松市東区竜光町2番地の101 トッパン・フォームズ東海株式会社内

Fターム(参考) 2C005 HA01 HB04 JA09 JA15 JC10 KA11